

大阪ゴム商業会 第3回フットサル大会を開催



13社18チームが熱戦を クリヤママジヤパンが優勝

大阪ゴム商業会（森孝裕会長）が主催する第3回フットサル大会が3月16日午前10時から大阪府八尾市のノア・フットサルステジウムで開催された。当日は13社18チームが参加し、熱戦を繰り広げた。

開会式では森会長（モリテック）が「大阪ゴム商業会は西部工業用ゴム製品卸商業組合との合併が決まっていますので、大阪ゴム商業会としては最後のイベントとなります。この大会は協調と親睦を目的としています。」



森会長が挨拶

危険なプレーをせず、怪我がないように、楽しくプレーしてください」と挨拶。その後、小賀野哲明理事（オガノ）が大会の諸注意事項、ノア・フットサルステジウム宝寺の服部副店長がルールを説明した後、競技がスタートした。



優勝したクリヤマジャパン

競技はチームを4ブロックに分けてチーム総当たり戦の予選リーグを実施。その後、各ブロック予選リーグ上位2チームによる決勝トーナメントが行われた。試合時間は、前後半戦なしの7分間。予選リーグは勝ち点、得失点差、総得点数などで順位が決定。また、決勝トーナメントでは、同点の場合は一人目からのサドンデス方式のPK戦で勝敗が決する。また女性のゴール得点は2点とする前回大会までの特別ルールは廃止された。予選リーグAブロック



準優勝吉野ゴム工業

は3勝1分けのユージン産業、3勝1敗のエムケイ産業、Bブロックは4戦全勝のクリヤマジャパン、2勝1敗1分けの福井化成A、Cブロックは2勝1分けのニシヤマ、2勝1敗のアキツB、Dブロックは3戦全勝の吉野ゴム工業、2勝1敗の岡安ゴムがそれぞれ決勝

トーナメントに進んだ。準決勝では、福井化成Aがユージン産業を1対1の同点からPK戦で下し、ニシヤマは岡安ゴムに3対0で勝利。またクリヤマジャパンはエムケイ産業を3対0で下し、吉野ゴム工業はアキツBに3対1で勝利した。

決勝戦は前回大会覇者で2連覇を目指す吉野ゴム工業と第1回大会の優勝チームで、今大会全勝で勝ち上がってきたクリヤマジャパンが激突。白熱した好ゲームを展開し、1対1の同点で終了。サドンデス方式のPK戦によりクリヤマジャパンが勝利し、2年ぶりの2回目の栄冠を手にした。

優勝したクリヤマジャパンには森会長から優勝カップと副賞が、2位の吉野ゴム工業、3位の福井化成A、ニシヤマにはそれぞれ副賞が贈られた。

閉会の挨拶で小賀野理事が「決勝戦は白熱した良いゲームでした。その他の試合もレベルが上がってきており、大変感動しました。この大会は西部ゴム商組に引き継がれ、同じように開催したいと思っていますので来年もご参加ください」と述べ、締めくくった。